

定例会議の開催状況

1 日時 令和8年3月4日（水）午後1時15分～午後4時20分

2 出席者 櫻井委員長、和田委員、逸見委員、山田委員、斎藤委員
警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、
情報通信部長、警察学校長、首席監察官、組織犯罪対策本部長
説明補助者
公安委員会事務室長、取調べ監督室長、組織犯罪対策課長、交通企画
課長、運転免許センター長、交通聴聞官、運転免許センターセンター
長補佐

3 議題事項

(1) 指定自動車教習所に対する行政処分の実施について（2件）

運転免許センター長から、指定自動車教習所に対する行政処分の実施2件について説明があり、審議の結果、処分を決定した。

(2) 新潟県道路交通法施行細則の一部改正について

交通企画課長から、「新潟県から複数人が乗車できる四輪自転車、「パーティーバイク」を使用した事業の計画に伴い、現状の規定では運転者以外の者は乗車できないため、軽車両の乗車人員に関する規定の改正要望が寄せられた。他県では既に事業が実施されていることや全国的には乗車可能としている規定が大半である現状などから、同規定を改正したい。また、警察行政手続オンライン化システムを利用して行う取消処分者講習の申込において、利用者がシステム上で入力する事項と窓口において申込する際に使用する申請書の記載事項を統一させるため、様式の改正を行いたい。」旨の説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

委員から、「片側1車線の道路におけるパーティーバイクの運行は、交通渋滞や事故につながる懸念はないのか。」旨の質問があり、交通企画課長から、「導入前に試験走行を予定していることから、できる限り交通の支障がない経路で、安全に配慮して運行するよう、主体となる企業等に指導してまいりたい。」旨の説明があった。

(3) 運転免許関係の意見聴取等について

交通聴聞官から、運転免許取消対象事案21件について、事案内容及び意見聴取等結果の説明があり、審議の結果、取消し21件の行政処分を決定した。

4 報告事項

(1) 令和7年中のけいさつ相談受理状況について

警務部長から、令和7年中のけいさつ相談受理状況について、資料に基づき報告があった。

委員から、「相談受理件数において特殊詐欺、中でも警察官を騙るオレオレ詐欺の相談が増加したとのことだが、警察相談電話に関する広報に取り組んだ結果、県民に警察相談電話が認知されて意識が高まったことが相談件数の増加につながったと思う。そのような意識をもって、今後も警察相談電話の周知に努めていただきたい。」旨の発言があった。

(2) 令和7年中の感謝・激励の受理状況について

警務部長から、令和7年中の感謝・激励の受理状況について、資料に基づき報告があった。

委員から、「サイバー攻撃の阻止に関する感謝事例の報告を受け、パトロールの範囲がサイバー空間にまで及んでいることを知り、警察の守備範囲が広がっていると感じた。この度の感謝事例は非常に素晴らしい事例だと思う。今後も工夫して取組を進めていただきたい。」旨の発言があった。

(3) 令和7年度の留置施設実地監査結果について

警務部長から、令和7年度の留置施設実地監査結果について、資料に基づき報告があった。

委員から、「実地監査により新たに発見して指摘した事項については、監査実施の効果だと思うが、指摘事項のうち既に発生している件を指摘したものについては、再発防止の徹底状況等を含めて監査を実施することが大切である。」旨の発言があった。

(4) 令和7年中の被疑者取調べ監督制度の運用状況について

取調べ監督室長から、令和7年中の被疑者取調べ監督制度における監督実施状況、監督対象行為の発生状況等及び令和8年の取組方針について報告があった。

(5) 公安委員会宛て苦情申出の受理について

公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに届いた警察職員の職務執行に関する苦情申出について報告があった。

(6) 令和8年度の監察実施計画について

首席監察官から、令和8年度の監察実施計画について、資料に基づき報告があった。

(7) 特殊詐欺被害防止広報用動画等の制作と広告配信について

生活安全部長から、特殊詐欺被害防止広報用動画等の制作と広告配信について、資料に基づき報告があった。

委員から、「放映されている動画を見たが、非常にインパクトがあり、効果的だと感じた。」旨の発言があった。

委員から、「動画の効果を検証し、更なる効果的な広報へとつなげていただきたい。」旨の発言があった。

委員から、「特殊詐欺については、高齢者に限らず、幅広い年代に被害が及んでいることから、様々な世代に広報が届くように工夫して、今後も特殊詐欺防止広報に努めていただきたい。」旨の発言があった。

(8) 薬物乱用防止広報活動（薬物乱用封じコメ活動）発表会の開催について

組織犯罪対策本部長から、薬物乱用防止広報活動（薬物乱用封じコメ活動）発表会の開催について、資料に基づき報告があった。

委員から、「この取組に参加した学生は、広報用資材を作成するだけでなく、それらの活動を通して分かりやすく伝えるためには言葉や表現をどうしたらよいかお互いに考えることになり、学生にとっても薬物に関する知識を深めることにつながる。より効果的な広報につながる大変良い取組だと思う。」旨の発言があった。

委員から、「流行の薬物は次々に変わっていることから、広報する際は常にその時点で流行している薬物の情報を新たに取り入れながら行っていただきたい。」旨の発言があった。

(9) 公益財団法人の不適正事案に関する公益認定等審議会結果について

組織犯罪対策課長から、公益財団法人新潟県暴力追放運動推進センターの不適正事案に関する公益認定等審議会の結果について報告があった。

委員から、「審議会の結果に加え、内部におけるチェック体制をさらに整えることが、再発防止に効果的だと思う。」旨の発言があった。

5 その他

(1) 県議会 2 月定例会について

警務部長から、「県議会 2 月定例会では、長岡警察署における誤認逮捕事案に関する質問などが各党からなされている。今後、常任委員会などが予定されていることから、丁寧な説明に努めてまいりたい。」旨の発言があった。